

あなたも参加しませんか？

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、変更・中止となる場合があります。申込方法等、詳しくはお問い合わせください。また、参加の際は、感染症対策をお願いします。

東部台文化会館

☎(23)8711 FAX(23)9767
 ⑩10月14日⑩(偶数月と3月の第2木曜日)、年末年始

▼施設の利用申請書受付 9時～17時

	受付分	受付開始日
音楽ホール	令和4年 9月分	9月1日⑩
体育センター	令和3年 12月分	9月2日⑩
その他	3カ月先まで	順次

※詳しくはお問い合わせください。

美術館・郷土資料館

☎(26)2131 FAX(26)2132
 ⑩年末年始

開館時間9時～17時、下記展示全て無料。自動車で来館される高齢者、身体の不自由な方は、館の脇に駐車できますのでお問い合わせください。

◆共催展示

▼魚地貞夫「作陶展」

～8月29日⑩／内容＝一宮町在住の陶芸家魚地貞夫の作品を集大成として展示。

▼茂原市書道協会展

～8月21日⑩最終日は16時まで

▼G. クローバー展(洋画)

8月23日⑩～29日⑩初日は9時から、最終日は15時まで

▼第45回千葉県移動美術館

「フランス風景画

～バルビゾン派と浅井忠～

9月11日⑩～10月17日⑩／内容＝コロ、フォンタネージをはじめとするフランスバルビゾン派の牧歌的な農村風景画と、フォンタネージに教えを

受けた洋画家浅井忠の作品に焦点を当て、千葉県立美術館収蔵の名品を紹介するとともに、フランス絵画に親しむ展覧会。

◆美術実技講座

▼初心者のための油絵講座

10月12日⑩～14日⑩12時30分～15時30分／内容＝デッサンから用具の説明、使い方を通して、3日間で6号サイズの静物画を仕上げる講座／講師＝画家川上弘子氏／対象＝一般／定員＝9人(申込者多数の場合抽選)／持ち物＝汚れてもよい服装、エプロン、ぼろ布、新聞紙／材料費＝4,000円／申込＝8月15日⑩～22日⑩17時まで電話にて

◆美術収蔵品展

▼郷土ゆかり作家のヨーロッパ風景

8月27日⑩～9月15日⑩／内容＝^{にわか}鳩川誠一、^{せいち}中村次雄など計5作家15点の洋画を展示／会場＝市民ギャラリー

◆郷土資料館常設展示

～9月5日⑩／内容＝茂原市内を代表する神田山遺跡や国府関遺跡、下太田貝塚を紹介する。その他養蚕の道具、県指定文化財になった人車等を展示。

◆第1回テーマ展(市史編さん事業展示)

▼近代の教育その1 千葉県簡易農学校～千葉県立茂原農学校へ

9月18日⑩～12月12日⑩／内容＝現在の千葉県立茂原樟陽高等学校の前身である千葉県簡易農学校は、明治30年(1897)、千葉郡千葉町(現千葉市)に、「農事二関スル普通学理二通曉スル実業者ヲ養成スル所」として設立された。この頃県内の県立中等学校は、千葉県尋常中学校と千葉県簡易農学校の2校のみで、県立中等学校の設立を要望する運動は各地で活発であった。茂原では、いち早く鶴枝村の千葉彌次馬(天夢)、高橋喜惣治、茂原町の安川

寛三郎、五郷村の井桁三郎平等有志たちが活動し茂原への誘致を進め、簡易農学校の敷地として約一万坪の土地を県に寄付した。同32年(1899)野巻戸の新校舎がほぼ完成したころ茂原町へ移転。校名も千葉県農学校に、同34年(1901)には千葉県立茂原農学校と改称し、県内でも数少ない中等教育機関の実業校として近代の教育に果たした役割が大きかったことを紹介。

◆第2回歴史セミナー

▼近代の教育 千葉県簡易農学校～千葉県立茂原農学校へ～校史から茂原樟陽高等学校の歴史を学ぶ～

9月18日⑩13時30分～15時30分／内容＝千葉県立茂原農業高等学校(現県立茂原樟陽高)が創立85周年を記念に刊行した『茂農の歴史』や『茂農の歴史百年』等の校史を読み解きながら同校が近代教育で果たした役割を紹介する。／講師＝茂原市史編さん委員^{たけもと}各務敬氏／対象＝一般／定員＝15人(申込者多数の場合抽選)／参加費無料／申込＝8月16日⑩～31日⑩17時まで電話にて

◆市民ギャラリー

市民ギャラリーは、皆さんの作品発表スペースです。(会場使用は有料)

中央公民館

☎(22)5072 FAX(24)0008
 ⑩年末年始

▼季節のパッチワーク教室

10月21日、11月11日・25日、12月9日・23日(全5回・木曜日)13時30分～16時30分／内容＝季節にあったパッチワークの小物を作る／対象＝女性／定員＝10人(申込者多数の場合抽選)／費用＝各回1,500円程度(材料費)／申込＝8月16日⑩～26日⑩来館または電話にて